

保護者様

倉敷市立連島東小学校
校長 重松 啓司

〈保存版〉

気象警報発表時における登下校について

本校では、「警報」「特別警報」が発表された際の措置につきまして、児童の安全を第一に考えて次のように定めております。気象情報を確実に把握していただき、対応していただきますようお願いします。

記

- ◇ 午前6時の時点で、倉敷市に暴風警報（風による警報）、または、次の特別警報が発表されている場合は、臨時休業とします。危険を避けるため、必ず自宅で過ごさせてください。

倉敷市に午前6時の時点で

暴風警報

大雨特別警報

暴風特別警報

暴風雪特別警報

大雪特別警報

↓

↓

が発表されている場合

臨時休業

（その後解除でも、一日休み）

※「大雨警報」「大雪警報」は、臨時休業となりません。

- ◇ 児童が登校している時に「暴風警報」が発表された場合は、状況によっては下校時刻を早めたり、遅らせたりする場合があります。この場合には教師が引率して地区別一斉下校を行います。

また、「暴風警報」が発表された場合には、ぱんだクラブは開設されません。その場合、学校で待機させ、保護者等に迎えに来ていただくなど、ぱんだクラブを利用していない児童とは対応が違います。朝の天気予報をご確認いただき、「暴風警報」が発表された場合の対応を子どもと確認しておくとともに、連絡ノートに下校の仕方を書いて担任にお知らせください。

- ◇ 児童が登校している時に上記の「特別警報」が発表された場合は、この警報の趣旨（ただちに命を守る行動をとる）から、児童の安全確保のために、保護者の方のお迎えをお願いします。保護者のお迎えがあるまでは、学校でお預かりいたします。ただし、その時点での気象状況によっては、「暴風警報」の際と同じ対応をお願いする場合がありますので、よろしくお願いします。

- ◇ 下校時刻の変更やお迎え等がある場合には、「保護者連絡帳」でお知らせします。まだ、未登録の方は、早めに登録をお願いします。

※ 情報収集や連絡のために電話が混雑します。電話でのお問い合わせは、ご遠慮ください。

非常災害時の対応

- ① 暴風警報・特別警報が発表された時
※特別警報(大雨・暴風・暴風雪・大雪)
- ② 震度5弱以上の地震が観測された時
- ③ 事故や事件が起きた時

- ① 暴風警報・特別警報(大雨・暴風・暴風雪・大雪)が発表された時

登校前の場合

午前6時の時点で
暴風警報・特別警報が
発表されている場合
⇒臨時休業

登校後の場合

状況によって判断
⇒中学校区で相談

対応の決定

- 授業時間の繰り上げ
- 給食の有無
- 下校の方法
 - * 集団下校
⇒教職員が下校指導
「保護者連絡帳」で下校見守りの依頼
 - * 引き渡し

家庭への連絡

※授業時間の繰り上げ・給食の有無・下校の方法等について
⇒「保護者連絡帳」でメール配信
未登録者へは電話連絡

②震度5弱以上の地震が観測された時

自宅にいる場合

- 自宅待機
※学校からの連絡を待って行動する。

学校にいる場合

- 運動場に避難
- 対応の判断
※集団下校または引き渡し

大地震発生

登下校中の場合

- 学校に向かう(戻る)
※緊急避難場所である学校に向かう(戻る)ことを基本とする。
- 家に近い場合は、家に帰る。

児童が家にいる場合

児童は、自宅待機になります。

- 情報収集・状況把握
・保護者連絡帳、ニュース等で状況を把握する。
・学校再開の連絡を待つ。
- 家庭連絡(自宅待機)
・保護者連絡帳(未登録者には電話連絡)にて「自宅待機」の連絡をする。
・情報収集、状況把握
・学校再開に向けた対応

児童が学校にいる場合

児童は、集団下校または引き渡しになります。

家庭

- 情報収集・状況把握
・保護者連絡帳、ニュース等で状況を把握する。
- 児童の下校について
・集団下校の場合
⇒通学路での下校見守り
・引き渡しの場合
⇒学校にて児童を引き取る。

児童・学校

- 安全確保
・地震がおさまるまでの間、机の下等にかくれて、安全を確保させる。
- 避難場所への避難
(運動場・体育館・教室)
・避難訓練に準じ、危険箇所を回避しながら、柔軟に避難させる。
- 家庭連絡
・児童の下校について保護者連絡帳(未登録者には電話連絡)にて、連絡をする。
※引き渡しは、避難場所にて行う。
- 情報収集・状況把握
・ニュース、倉敷市防災危機管理室等からの情報で状況を把握する。

③事故や事件が起きた時

自宅にいる場合

- 自宅待機
※学校からの連絡を待って行動する。

学校にいる場合

- 運動場・体育館に避難か教室待機
- 対応の判断
※集団下校または引き渡し

事故や事件が発生

登下校中の場合

- 学校に向かう(戻る)
※緊急避難場所である学校に向かう(戻る)ことを基本とする。
- 家に近い場合は、家に帰る。

児童が家にいる場合 児童は、自宅待機になります。

- 情報収集・状況把握
・保護者連絡帳、ニュース等で状況を把握する。
・学校再開の連絡を待つ。
- 家庭連絡(自宅待機)
・保護者連絡帳(未登録者には電話連絡)にて「自宅待機」の連絡をする。
・情報収集、状況把握
・学校再開に向けた対応

児童が学校にいる場合 児童は、集団下校または引き渡しになります。

- 情報収集・状況把握
・保護者連絡帳、ニュース等で状況を把握する。
- 児童の下校について
・集団下校の場合
⇒通学路での下校見守り
・引き渡しの場合
⇒学校にて児童を引き取る。
- 安全確保
・安全が確保されるまで学校内で避難・待機
- 家庭連絡
・児童の下校について保護者連絡帳(未登録者には電話連絡)にて、連絡をする。
※引き渡しは、避難・待機場所にて行う。
- 情報収集・状況把握
・ニュース、倉敷市教育委員会からの情報等で状況を把握する。

※登下校時の雷等への対応については別紙をご覧ください。